



文芸妙高・第 42 号投稿

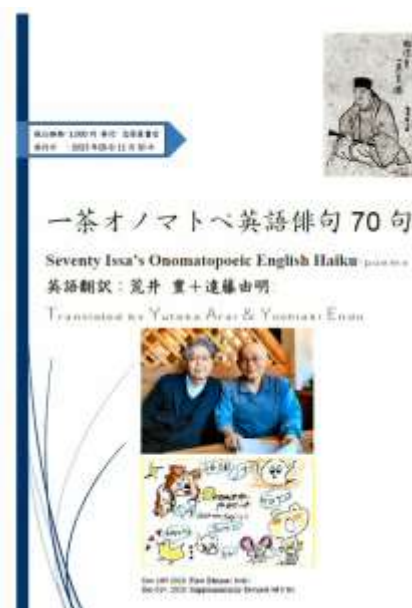
応募部門：随筆

題名：“Through Yoshie & Yoshy’s Duet Poem: No.2”

副題：「命が発するオノマトペ」

“Through Yoshie & Yoshy’s Duet Poem: No.2”

副題：「命が発するオノマトペ」



「どかどかと花の上なる馬ふん哉」(一茶)

“Thud-thudingly, the horse dung is falling on the flower.”

いきなりびっくりなされたかも知れません。北信濃に近い当地妙高市民にとって、小林一茶の俳句はとても親しみやすい句が多いのです。この句は、私には、汚さより、火山の土(べと)、銀蠅、農夫の汗、妙高山、野尻湖...が夏の夕暮れの熱気と共にふわり迫ってきます。

しがたない英語教室を 50 年続けていても、「臆病な羞恥心」と「尊大な自尊心」の狭間で立ち居場所を見失いがちになること度々です。英語という伝達道具を生徒と共に磨いて何を成したのか、何に向かって馬齢を重ねているのだろうか? ... 時に煩悶反省の日々です。

今回のテーマは「命が発するオノマトペ(擬音語)」です。一英語を教える素材としての「国の位置や歴史」を始め、貧富の格差、ダイバーシティ、無常、SDGs、LGBTQ 等と、したり顔で口走った途端に、意図せず、「見えない境界線」が現れてしまいます。この世に時空を超えて、グラデーションのように「境目が無いのにも拘(かかわ)らず混ざらず自己主張をなすもの」には何があるのだろうかと考え、英語学習素材としての「命が発するオノマトペ」を取り上げています。

性(さが)として、私達から消し去ることができない「多様性の尊重(ダイバーシティ)と憎悪犯罪(ヘイトクライム)」の存在を内包し且つそれらを俯瞰(ふかん)できる考え方はないかどうかを思索して書いています。ヒトラー、ムッソリーニ、スターリン、ポルポト等はいないけれど、今私達を苦しめているのは、レイシズム(人種差別)、カルト、テロリスト集団始め、独裁、覇権主義や領土拡張主義を標榜するミャンマーのミンやロシアのプーチン等のような、専制主義者達の存在です。しかし彼らは決して宇宙人のような特殊な人間ではないのです。私達の心の中にも居ると考えなければなりません。

どの国も何度も法改正をし、外交交渉の為に G-7, 10, ... の枠づくりとその開催数が競うかの如く増大し、国連決議を幾度繰り返しても「その場しのぎの解決擬(もど)き」が頼りなげに独り歩きしている暗夜行路のように見えます。「比べるな、弥陀の前では皆同じ」(阿弥陀経の一節)の理念をどの国にも当てはまる「ネオ宗教: Neo-religion」と位置づけ、自然界の共生を自覚できるような地道な運動を根気よく展開してゆくしかなく、その方策をどうするかを議論し実行してゆくしか平和への道が無いと私は考えます。英会話力を磨くことは、そのための手段であって欲しいのです。私は、ハードの武器ではなくソフトとしての武器に成り得るのが「生きた英語力」だと考えています。

LL 英語教室では時に、老若男女国籍を問わず、東大寺南大門の金剛力士像が発していると言われる「阿吽(あうん)」のような、無意識的な発声: 「オノマトペ: 擬音語、擬態語の英語」を子供達に教えてきています。「オギャー: Mewl」、「うまうま: Yum-yum」から始まって、「むかむか: sick」、「うーん ... : Groan ...」で成仏するまで、その定命過程に影響を与え「業: ごう」を形成してゆく個々別々唯一無数の「オノマトペ」を英語で確かめ合ってゆくと、人間関係に接点生まれ、笑いが多々生じ、そこに交渉の準備の切っ掛けを提供してくれるのです。別の角度で言えば、その気づきを伝えることも道具としての英語力を高める英語学習の目的ではないでしょうか? デジタル情報交換機器はあくまでもこの為の手段であってその操作力や開発力が目的であってはなりません。かほどに病む心を子供達のみならず組織内部にさえ抱え込んでいる文科省は、前述の予算を、英語での人心啓発ソフト開発に挿げ替えることを喫緊の課題として欲しいものです。ゲーム、SNS 等... それらが持つ「もう手放せない利点の奴隷」になっている場面の落ち込みと憂き目に泣く家庭等の問題の元凶を政治家も官僚達も知っている筈です。



オノマトペに焦点を当てた英語学習には、日本語の習得過程と同じく、自他のアイデンティティを認め合い、諍(いさか)いの馬鹿馬鹿しさを笑い飛ばす力が備わっています。実感して頂く為に、一茶と外国友人の俳句と、山下先生の詩をご紹介致します。一茶は当地に多い門徒(浄土真宗信者)ですが、例えばグラナダ・ファミリアや奈良の大仏等のような、祈りや神性偶像(icon)の頂点を極めようとするような宗教上の他者に対する優位性を希求する姿勢は全く感じられません。一茶の俳句には、「禅」の匂いさえ感じます。現在、数多ある一茶のオノマトペ俳句を私の英語学習同胞で私にエールを送って下さる先達のお一人、荒井豊先生と分担して英訳中です。以下、私の分担分から数句お楽しみ下さい。



「夕風呂のだぶりだぶりとかすみ哉」

"Plop-splash when bathing in the evening, mist quickly spreads."

「ゆさゆさと春が行ぞよ野辺の艸(くさ)」

“Spring wind is swaying through the grasses in a crematory.”

「しんしんとしんらん松の春の雨」

"Thick and fast spring rain drizzles on the pine tree on which *Shinran* hanged his cloth."

「風鈴はちんとも云ず蟬の声」

"A wind-chime says nothing, but I hear the voice of cicadas."

「ぬつぼりと月見顔なるかがし哉」

"Obscurely, a scarecrow is watching the moon; looks like an idyllist."

「くりくりと月のさしけり坊主麦」

"A full moon like a shaved head lights over the field of naked barley."



太平洋戦争末期に米国軍語学将校として硫黄島作戦に参加したサイデステッカー氏が私の頭を過(よぎ)ります。川端康成氏に「英語にしてくれたのだから、彼にノーベル賞金の半分以上を上げなくては！」と言わしめたほどの日本文化通です。太平洋戦時中、日本人が欧米人を「鬼畜米英」と呼んだように、彼等も又私達を「ジャップ」という蔑称を使っていました。20代の彼は情報収集のため、そこで戦死した兵士達の手帳を読んで、「日本兵も又私達と同じ感情を持った人間なのだ！」と立ち竦んだそうです。更に「土と兵隊」や「源氏物語」等から

「日本人の心」に触れ、数々の偉業を成し日本に帰化されたドナルドキーン(鬼怒鳴門)氏も又然りです。当然日本語のオノマトペも学ばれた筈です。

そこで、視点を逆にして、私の旧友のカナダのティム・ビービ氏の「英語俳句」に私の和訳を添えました。現在彼は、カナダのオンタリオ消防大学で消防士を育成しておられます。青春時代に当市に2年間ホームステイなされた折に私と親交を深め今もメル友です。今でも日本を懐かしんで、生まれ故郷に面する巨大で神秘的に満ちたスペリオール湖の画像と共に、美しい情景叙情俳句をブログで発表しておられます。猶、1960年代以降、世界中に沢山の俳句協会が生まれています。それらのサイトには、大抵日本人の指導者の名前が見え、私も日本人の一人として誇らしい気持ちになります。彼は私と違って謙虚で恥ずかしがり屋です。彼の俳句サイトは見つけ難いので私のサイト(下記)にリンクしてご紹介します。画像も楽しめますよ。

(数字)は、私の <http://mpec.blog.fc2.com/> での画像付き英語俳句+和訳の通し番号です。



Cascade . . .
The roar of water falling
and spirits rising

(149)

狂気の滝 ...
轟轟(ごうごう)唸る中
精霊舞う乎(や)



Brown leaves
in a forest graveyard
Remember

(147)

森の墓
枯れ葉ガサガサ
『忘れないで ...』



Wild waves
try to climb the shore
but can't

(143)

荒波が
岸に着けども
鬼がケラケラ ...

英語学習は、受験の道具や教養自慢を目的とするのではなく、「英語で自国や自分の身の紹介」を世界に向けて発信しようとする気概が育って欲しいのです。私が山下先生の詩を英訳させて頂く度に、「ほら日本人にもかほどに豊かな生命の躍動を表現できる人がおられますよ！」と、一日本人として誇らしく嬉しく、世界に発信させて頂いている御縁に感謝しています。彼女は、動植物も人間と同じ命と心を持ち、見逃してしまいがちな「命のリレー」を詩に紡いでおられます。

食前の「いただきます」は「命を ...」です。動植物と共に全ての命を育み続けているガイア(地球生命体)の営みを外れては生きられない泡沫の我が身に目を向けさせてくれる仏語の一つです。(今年7月に泉下の人となられた私の師匠、無着成恭先生のお言葉からの引用) “God bless

you!”(くしゃみをした人に『魂が抜けませんように!』)、”Break your leg!”(今が頑張り時よ!)... 日本語、外国語を問わず、時には何気なくオノマトペ的に発声している言葉の源に目を向けることも「今を生きる命」を感じられるようになって欲しい英語学習の要諦の一つだと思います。

「コオロギの歌」(山下佳恵)
“A Cricket’s Songs”

コロコロコロコロ
ひとりぼっちのコオロギが
仲間を呼んで歌う歌
コロコロコロコロ
ココニワタシハイルノデス

Chirping: koro, koro, koro, koro ...
A lonely cricket is singing
This song.
Koro, koro, koro, koro ...
HERE AM I! FIND ME!

キリキリキリキリ
はいらないで私の場所
あっちにいけとけんか歌
キリキリキリキリ
ココハワタシノイルバシヨデス

Chirping: kiri, kiri, kiri, kiri ...
This is my territory, don't you know?
An angry cricket is singing
This song.
Kiri, kiri, kiri, kiri ...
THIS PLACE IS MINE!

コロコロリリリ
やっと見つけたあのひとに
捧げて歌う愛の歌
コロコロリリリ
ココロヲコメテウタイマス
ワタシノココロヲウケトメテ

*Koro, koro, ring, ring, ring ...
Hello, dearest my sweetheart! Devoting ...
This song of aubade.
Koro, koro, ring, ring, ring ...
WITH ALL MY LOVE.
... have me ...*

「コオロギの歌」(了)
“A Cricket’s Songs” (The End)

「コンパスフラワー」(山下佳恵)
“Compass Flower”

純白の花を
枝いっぱい咲かせて
春の訪れを告げていた白木蓮の木は
いま
葉も落ちて
ふわふわの毛皮のなかに
新しい命を守り
次の春を待ち望んでいる

*Pure white flowers are
Fully blooming on the branches,
The white lily magnolia trees that had announced us the arrival of spring are ...
Now,
Their leaves are falling down and
In their fluffy fur,
Their new lives are protected.
Yes, they are looking forward to the next spring.*

蕾の先が
北を指しているから
別名は
コンパスフラワー

*Because the tip of the bud
Points to the north,
Another name is called
“Compass flower”.*

北とは別の方向を指している蕾もある
どこの世界にも
あまのじゃくっているんだねって
ふっと
笑った口元から
白い蝶が飛び立ち
空中に崩れて消える

*Some buds point in a different direction from the north.
In any world,
There sure are perverse persons, aren't there?
Suddenly
From my laughing mouth,
White butterflies fly away and
Collapses in the air and disappears.*

鉛色の空から
ちらちらと舞い降りてくる白い粉雪
銀色の毛皮に入り
静かに積もる
見あげれば
枝いっぱい
純白の花
もう指している方向はわからない
満開の
満開の
幻の花が咲く

*From the leaden-colored sky,
White powder snow which is flickeringly falling down
Enters their silver fur and
Piles so quietly.
Looking up,
Pure white flowers are
Fully blooming;
I've no idea which direction they are pointing anymore
Fully
Fully
Phantom flowers are blooming.*

「コンパスフラワー」(了)
"Compass Flower" (End)